

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (11-02)

団体名	(特非) 場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川 計二
事業名	「在住外国人の孤立を防ぎ、仲間づくりができる場づくりプロジェクト」		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎週水曜日	北神区文化センター	42 (2)	北神日本語教室 38回 外国人学習者26人、ボランティア16人
11月30日	北神区文化センター	16 (2)	日本語ボランティアブラッシュアップ講座z 講師：土井佳彦 場所：北神区文化センター2階会議室

<効果と成果>

8カ国26人の参加がありました。多くが特定技能や技能実習生であり、職場と家の往復であったところに縁があり北神日本語教室に参加くださいました。教室活動では生活に必要な日本語を学ぶのはもちろんですが、地域の文化や日本の習慣についても日本語ボランティアが寄り添い、お互いが学ぶ会うことにより共助の仕組みにも寄与で来たと思います。また、地域資源とつながるきっかけとしては、神戸大学大学院保健学研究科の先生とゼミ生による健康相談会の実施などを行い、コロナワクチン接種への正しい知識習得や健康相談などをしていただき実のある活動になりました。

日本語ボランティアブラッシュアップ講座では、兵庫県内の4つの日本語教室と北神日本語教室から参加があり、先輩ボランティアからのアドバイスや、ボランティアだから共感できる活動の話などを共有し、今後の活動のヒントになる話題提供もできたと感じている。

<今後の展望>

- ・長期にわたるコロナ禍による景気悪化と物価高、円安に伴い在住外国人の生活困窮状況が分かった。そのような背景が新たにわかり。日々の暮らしを守るため、日本語を学ぶ優先順位が下がっているのを感じる。
- ・在住外国人の相談も多様になってきているので、日本語教室が在住外国人のよりどころになる場所になるように近寄りやすい環境を作っていくと思う。
- ・西宮北部地域に在住、在勤の外国人が増加傾向にあるので、夜間教室として受け入れる体制を作っていく。
- ・在住外国人の生徒（中学生）を日本語教室で受け入れ始めた。今後、この地域ではアジア出身の外国ルーツの子どもたちの就学（小学校入学）課題が出てくる。子どもの支援も必要であるが、親への支援が重要になってくると感じている。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	412,000
自己資金	979
参加費・他助成金	397,000
合計	809,979

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	人件費	250,800	208,396
	会議費	156,363	8,663
	交通費	202,860	31,660
	その他 (印刷費、消耗品等)	199,956	163,281
	小 計	809,979	412,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		809,979	412,000